



平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月7日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL http://www.8190.co.jp/company/
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名) 石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 コーポレート (氏名) 山縣 俊 (TEL)03 (6803)8855
 部門・コミュニケーション部門管掌
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	14,840	△5.2	152	-	267	124.1	132	53.6
24年11月期第3四半期	15,661	-	5	-	119	-	85	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	9.58	-
24年11月期第3四半期	6.23	-

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第3四半期	5,861	4,171	71.0
24年11月期	5,693	4,163	73.0

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 4,162百万円 24年11月期 4,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	-	600.00	-	400.00	1,000.00
25年11月期	-	500.00	-	-	-
25年11月期(予想)	-	-	-	5.00	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これにともない、平成25年11月期(予想)期末の配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年11月期の業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,403	3.1	96	-	224	-	73	-	5.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これにともない、平成25年11月期の1株当たり当期純利益については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年11月期3Q	15,285,600 株	24年11月期	15,285,600 株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	1,500,000 株	24年11月期	1,500,000 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年11月期3Q	13,785,600 株	24年11月期3Q	13,785,600 株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、当社は、平成24年3月1日付で連結子会社「株式会社パーク王」を吸収合併いたしました。このため、売上高およびその他利益の前年同期比較の金額において、前第1四半期累計期間の駐車場事業に係る金額が含まれておりません。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、積極的な経済政策により、輸出の持ち直し、企業業績の回復等、少しずつ明るい兆しが見え始めている一方、実体経済への波及は明確になっておらず、また、海外景気の下振れ懸念等があり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイク保有台数は1,198万台(平成24年3月末現在、出所：一般社団法人日本自動車工業会)といわれており全体として微減傾向にあります。しかし、比較的市場価値の高い原付二種以上のバイクの保有台数は僅かながら増加しております。また、当社の主たる販売先(出品先)である中古バイクオークション市場の相場は、4月以降前年同期並みとなり、回復基調で推移しております。

このような市場環境のもとで、当社は、「バイク王」をコアブランドとするバイク買取事業において、企業イメージの向上に資する広告展開を推進するとともに、高収益車輛獲得に向けた取り組みを全社で推進いたしました。

この結果、お申し込み件数は前年同期並みを確保したものの、出張買取成約率(※)等が前年同期を若干下回ったことにより、販売台数は減少いたしました。

また、平均売上単価(一台当たりの売上高)ならびに平均粗利額(一台当たりの粗利額)は前年同期並みまで持ち直したものの、販売台数の減少を補うまでには至りませんでした。

上記の状況を踏まえ、店舗の統廃合を実施するなど、業務効率化を図るとともに、販売費及び一般管理費の抑制を推進することで、利益の確保に努めました。

以上の結果、売上高14,840,259千円(前年同期比5.2%減)、営業利益152,802千円(前年同期比2,584.1%増)、経常利益267,119千円(前年同期比124.1%増)、四半期純利益132,019千円(前年同期比53.6%増)となりました。

※出張買取成約率：出張査定においてバイクの査定金額をバイクユーザーに提示した際に取引成約に至る割合。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<バイク買取事業>

バイク買取事業に関しては、上記のとおりです。

以上の結果、直営店舗数は当四半期会計期間の末日現在では76店舗、セグメント間消去前の売上高は12,594,053千円(前年同期比9.3%減)、経常利益は12,153千円(前年同期比76.8%減)となりました。

<バイク小売事業>

バイク小売事業に関しては、店舗における在庫車輛の展示強化に加え、WEBへの在庫車輛の掲載推進等、積極的な販売活動を実施するとともに、人材育成を推進することで既存店舗の収益力強化を図りました。

以上の結果、直営店舗数は11店舗、セグメント間消去前の売上高は4,024,300千円(前年同期比14.2%増)、経常利益は225,157千円(前年同期比379.7%増)となりました。

<駐車場事業>

駐車場事業に関しては、既存事業地の収益力向上と採算性を重視した事業地開発を推進いたしました。その結果、304車室を新規に開設するとともに、164車室を閉鎖しており、車室数は2,300車室となりました。

以上の結果、セグメント間消去前の売上高は572,897千円(前年同期比61.1%増)、経常利益は29,808千円(前年同期比49.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて403,534千円増加し、3,957,534千円となりました。これは主に、現金及び預金363,936千円および商品31,193千円が増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて235,128千円減少し、1,904,283千円となりました。これは主に、減価償却等により有形固定資産および無形固定資産が153,850千円減少したこと、また繰延税金資産の減少等により投資その他の資産が81,278千円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて202,974千円増加し、1,398,701千円となりました。これは主に、賞与引当金63,315千円および未払法人税等24,300千円が増加したことに加え、主に未払消費税等の増加により「その他」が143,897千円増加したことによります。固定負債は、前事業年度末に比べて42,158千円減少し、291,678千円となりました。これは主に、資産除去債務が14,181千円減少したこと、またリース債務の減少等により「その他」が27,977千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて7,589千円増加し、4,171,437千円となりました。これは主に、利益剰余金が7,948千円増加(株主配当124,070千円、四半期純利益132,019千円)したためであります。

この結果、自己資本比率は71.0%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年1月11日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,092	2,144,028
売掛金	217,646	234,326
商品	1,205,142	1,236,335
貯蔵品	18,281	16,282
その他	335,041	328,219
貸倒引当金	△2,204	△1,658
流動資産合計	3,554,000	3,957,534
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	685,730	619,446
その他(純額)	358,967	291,030
有形固定資産合計	1,044,697	910,476
無形固定資産		
投資その他の資産	82,242	62,613
固定資産合計	1,012,471	931,192
固定資産合計	2,139,412	1,904,283
資産合計	5,693,412	5,861,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,647	118,399
短期借入金	140,000	140,000
未払金	577,451	512,227
未払法人税等	22,200	46,500
賞与引当金	—	63,315
その他の引当金	6,782	5,016
資産除去債務	6,400	6,100
その他	363,245	507,142
流動負債合計	1,195,726	1,398,701
固定負債		
資産除去債務	225,594	211,413
その他	108,242	80,265
固定負債合計	333,837	291,678
負債合計	1,529,563	1,690,380

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,359,051	3,367,000
自己株式	△395,810	△395,810
株主資本合計	4,154,164	4,162,113
新株予約権	9,683	9,323
純資産合計	4,163,848	4,171,437
負債純資産合計	5,693,412	5,861,817

（2）四半期損益計算書
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）
売上高	15,661,043	14,840,259
売上原価	7,132,742	6,595,565
売上総利益	8,528,301	8,244,694
販売費及び一般管理費	8,522,608	8,091,891
営業利益	5,692	152,802
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,760	1,279
クレジット手数料収入	35,840	47,910
助成金収入	31,165	23,922
その他	51,003	48,098
営業外収益合計	119,770	121,211
営業外費用		
支払利息	5,432	5,351
その他	851	1,541
営業外費用合計	6,283	6,893
経常利益	119,179	267,119
特別利益		
固定資産売却益	40	14
新株予約権戻入益	—	359
特別利益合計	40	374
特別損失		
固定資産除却損	2,793	1,725
固定資産売却損	270	245
減損損失	64,466	36,776
その他	23,966	—
特別損失合計	91,496	38,748
税引前四半期純利益	27,724	228,746
法人税、住民税及び事業税	17,368	38,487
法人税等調整額	△75,585	58,239
法人税等合計	△58,216	96,727
四半期純利益	85,941	132,019

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	11,808,223	3,497,561	355,258	15,661,043	—	15,661,043
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,084,220	26,957	357	2,111,535	△2,111,535	—
計	13,892,444	3,524,518	355,615	17,772,579	△2,111,535	15,661,043
セグメント利益	52,305	46,932	19,941	119,179	—	119,179

(注) 報告セグメントのセグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントおよび「駐車場事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで59,568千円、「駐車場事業」セグメントで4,897千円であります。

当第3四半期累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	10,264,445	4,003,432	572,381	14,840,259	—	14,840,259
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,329,608	20,868	516	2,350,993	△2,350,993	—
計	12,594,053	4,024,300	572,897	17,191,252	△2,350,993	14,840,259
セグメント利益	12,153	225,157	29,808	267,119	—	267,119

(注) 報告セグメントのセグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントおよび「駐車場事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで33,412千円、「駐車場事業」セグメントで3,364千円であります。

前事業年度より、従来の「中古オートバイ買取事業」を「バイク買取事業」、「オートバイ小売事業」を「バイク小売事業」、「オートバイ駐車場事業」を「駐車場事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：千円）

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）	当第3四半期累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）
バイク買取事業	11,808,223	10,264,445
バイク小売事業	3,497,561	4,003,432
駐車場事業	355,258	572,381
合計	15,661,043	14,840,259

（注）1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 （自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日）		当第3四半期累計期間 （自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日）		関連するセグメント名
	金額（千円）	割合（%）	金額（千円）	割合（%）	
㈱ジャパンバイクオークション	4,822,712	30.8	6,512,231	43.9	バイク買取事業 バイク小売事業
㈱ビーディーエス	5,257,823	33.6	2,940,860	19.8	バイク買取事業 バイク小売事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。